

HAMANOだより

最終号

H30. 3.16 発行

3.19 日

「ありがとう」

♪ “ありがとう” って伝えたくて あなたをみつめるけど
繋がれたこの手は誰よりも優しく ほら この声を受け止めている♪

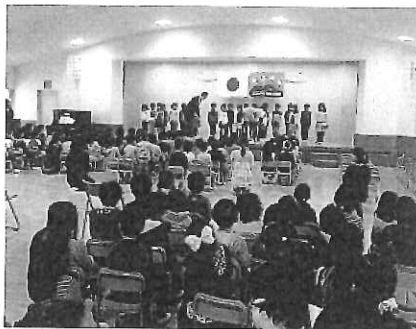
いきものがかり曲 「ありがとう」より

4歳児担任保育日誌より抜粋

『クラスで何やら黙々と作り物をしている姿があった。少し見守るとどうやら年長組さんへのお別れプレゼントを作っていた。きっかけは在園児（年中、年少組）と卒園児（年長組）のお別れ会をホールで行うことを聞き、すぐに子どもが「プレゼント作る！」という声があがり、思い思いのプレゼントを自由を作っていたのである。折り紙で得意の手裏剣を作る子、手紙を書く子、ハートをいっぱい折り、冠にしている子などそれぞれが工夫して作っていた。その姿から感じたことは相手のことを「想う」ことである。「ねんちょうさん、がっこうがんばってね!」「やさしくしてくれてありがとう!」「こころをこめてかきました。」など書かれてあり、一人ひとりの「想い」が伝わってきた。「ねんちょうさん、よろこんでくれるかな?!」と期待を込める姿もあった。』

上記した日誌の内容と同じようなものがこの2、3日の間に多くありました。年間通じて交流をして培った関係性と共に、年長児が日々の幼稚園の生活の中で共に遊び、関わることで、子どもたちの中に「絆」がうまれたのではないかと感じています。

3月14日（水）卒園式の練習に年中児が合流。 後ろから見守る年中児の顔は場の空気を感じて真剣そのもの。



練習を終えた後に年少組も合流。その後互いに歌を歌い合い、在園児の子どもたちで花道を作り年長児を送り出しました。



クラスに戻ると・・・交流保育をしていた在園児が手作りプレゼントを持参。



年長児のほとんどの子どもたちがプレゼントを受け取ると照れくさそうにしている姿が印象に残りました。

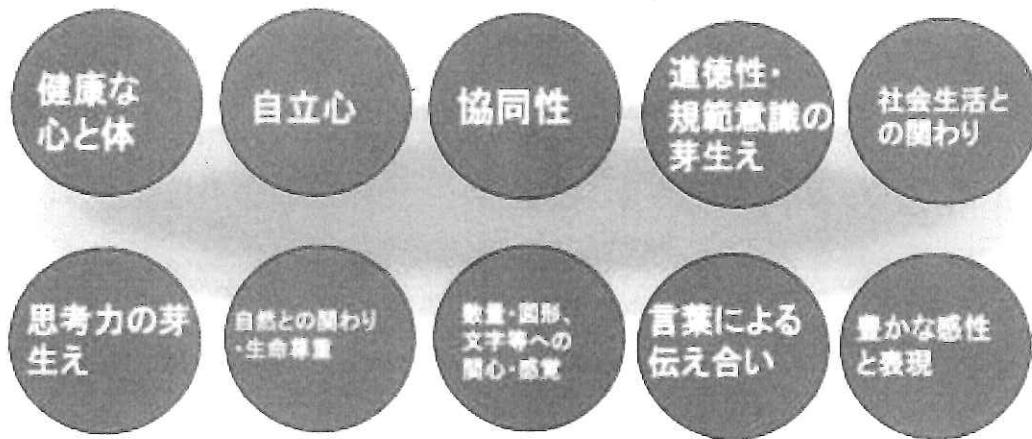
主任
濱野陽子

ウラハ →

N02

この1年間で育和の子どもたち全員の「育ち」は「有り!!」と声を大にして叫びたい心境です。「育ち」の概念は大きく見えにくいものです。それを見える化(可視化)し、整理したものが平成29年度告示された「幼稚園教育要領」中の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」となります。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の整理イメージ



幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿(※)

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性の芽生え	規範意識の芽生え	いっしょにふれあうことの楽しさ
思考力の芽生え	自然とのかかわり	生命尊重・公共心等	数量・図形・文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

※「幼稚園の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」(平成28年11月11日)に基づき整理。

年長児に関してはこれら全てに近い資質を獲得し、年中児、年少児に関してもこの1年間で「10の姿」の中から獲得したモノがあったことを感じています。今回のお別れ会を例に挙げると他児と交わりかかわることで・・・

◎心を通わせて豊かな言葉や表現を身につけ言葉による伝え合いを楽しむような姿から→言葉による伝え合いの育ち

◎心動かす出来事ふれて感性を働かせ、感じたことや考えを自分で表現したり、表現する喜びを味わう姿から→豊かな感性と表現の育ちなどひとつの事柄から枝分れした育ちがあることがわかります。

育和の子どもたちが目には見えない「育ち」→非認知能力を獲得することができたのではないかと感じています。

そのような子どもたちとかかわりながら私自身もこの一年で多くの学びを得ることができました。

様々な人、モノ、事とかかわりを持ち、たくさんの経験の中で培ったこの「育ち」を年長組も年中組も年少組もみんなが持ち、進学、進級へと自信に満ちて向かっていくことを期待しています。一人ひとりの子どもたちに・・・そしてそれを支えて下さったご家庭の皆様にも「ありがとう」を伝えます。今年度もHAMANO 便りをお読み頂き感謝申し上げます。

主任
濱野陽子